

## モンゴルのお兄さん、お姉さんと交流



7月28日(金)、鳥取県モンゴル中央県親善協会が行っている「第3回モンゴル児童・生徒日本語体験事業」の一環として日本を訪れているモンゴルの中学生9人が、用瀬町内の保育園を訪れ、モンゴルの歌や踊り、馬頭琴の演奏などを披露しました。質問コーナーでは横綱・朝青龍についての質問が飛び出すなど、園児たちにとって身近な国モンゴルの中学生との交流は、忘れられない思い出となったようです。

### 福部地域

## 見た目以上に重労働

福部地域海岸部の砂丘畑で、ラッキョウの植え付け作業が最盛期を迎えています。1年の中で最も暑さの厳しい時期にあたる7月下旬から9月上旬まで作業が行われ、直射日光により砂丘表面が日中50～60度に達することもあることから、ラッキョウの植え付けは想像を絶する作業と言えます。このような厳しい作業により10月下旬には、赤紫色の可憐な花が畑一面を埋めつくし、見る人を楽しませます。



### 鹿野地域

## 地域が一体となって盛り上げました

8月13日(日)、「いんしゅう鹿野盆踊り」が開催され、子どもからお年寄りまで約200人の踊り手が、鹿野の街なみを踊り歩きました。その後会場を河川公園に移すと、威勢のよい太鼓の音と共に一斉踊りが始まり、櫓を中心に夜遅くまで踊りの輪が続きました。主催者のいんしゅう鹿野盆踊り実行委員会代表の佐々木千代子さんは、「この盆踊りを始めて10年になります。ボランティアや地域のみなさんの協力があって、ここまで続けることができました。今後もみなさんに楽しんで頂けるよう頑張りたいです」と語っていました。



### 川端銀座通り

## やわらかな明かりに誘われて

7月22日(土)、「土曜夜市行灯まつり」が川端銀座通りで開催されました。これは、「とっとりまちおこし隊事業」の補助を受けて川端物語実行委員会(米村京子代表世話人)



が「行灯の灯りをまちの中に」を合言葉に実施したもので、青谷の和紙で作られた行灯や鹿野の竹行灯のやわらかい明かりが、訪れた人の心を優しく包み込みました。また、生バンドの演奏や映画の上映会も行われ、川端銀座は往年の賑わいを取り戻していました。

### 佐治地域

## 「きずな」をテーマに交歓会

8月1日(火)から3日(木)まで、姫路市・鳥取市姉妹都市中学生合宿交歓会が行われました。36回目となる今年、合宿地のさじアストロパークでの天体観察やかみんぐさじでの和紙すき体験など、鳥取市の自然や文化に触れる交歓会となり、両市の中学生70人が参加。「きずな」をテーマに意見交換を行うなど合宿生活を通して親睦を図った生徒たちは、今後も友情を深めていくことでしょう。

